令和８年２月４日
〇学校運営協議会委員
●事務局

令和７年度 大阪府立福井高等学校 第３回学校運営協議会 議事録

１　会長あいさつ

２　校長あいさつ

３　今年度の活動報告（発言の概要）

【生徒取組み・進路実現】

資料１　多文化共生プロジェクト

資料２　40 期生進路状況

●：今年度は指定校のみならず、多様な入試形態で大学進学を実現した生徒の多い学年であった。就職は幅広く内定をいただいた。

【分掌・委員会】

資料３　教務部

資料４　生徒指導部

●：生徒対応は学年を超えて、学校全体で行う環境づくりが見られる。指導から学校生活に戻っていく時点を、日常の学校生活を大切できるよう注力した指導を引き続き行う。

資料５　活動支援部報告

●：　支援を要する生徒数は変化なく、さまざまな背景のサポートに SC/SSW のみなさまに協力いただいた。部活動について、いちど入部した生徒の定着を図る取組みを次年度特に注力したい。

資料６　広報活動報告

資料７　総合学科委員会報告

【アンケート】

資料８　学校教育自己診断

●：①生徒アンケートについて

「学校が楽しい」を中心に、経年で肯定率上昇中

②保護者アンケートについて

肯定率は全体的に上昇。

資料９　総合学科アンケート

〇：今日の会議で、学校教育自己診断の結果を最も楽しみにして来た。＋５%がみられる回答が評価できる項目であり、日ごろの教職員と生徒との関りに注力されているのが非常によくわかる結果である。

〇：福井高校が地域とのつながりのなかで、存在価値をさまざま発信されたことを評価する。

〇：人権は生涯ずっと続くものである。新しい学びもあり、いまの生徒にあたるような人権学習を引き続き考察いただきたい。
〇：自転車指導について。厳格化する交通ルールに関する指導を、ぜひ願いたい。「命を守る」指導と学習を。
●：交通ルールについて、警察との連携も新たに含めた学習と指導を行っていきたい。

４　今年度の学校経営計画及び学校評価
資料 10　令和７年度　学校経営評価及び学校評価
●：１年次のときの結果、昨年度の結果がどうであったかに着目してアンケート考察をしていきたい。
人権学習について：教職員のスキル向上も併せて実施継続したい。
自転車通学について：交通ルールの学習の考察、中学校までの学習段階、各家庭における学びの大切さに併せて高校で「命の大切さ」を学ばせたい。
多文化について：外国につながりのある生徒の志望者数大幅増。
今年度の結果について：生徒との対話を大切にした授業づくり、回答の数値が示している以上に、普段の各授業で行われている。「ほかの学校にない特徴」回答について、数値向上をめざしたい。

５　次年度の学校経営計画及び学校評価
資料 11　令和８年度　学校経営計画
●：「キャリア教育の推進」をメインテーマのひとつに設定。

６　委員より
〇：多文化がテーマで福井高校との連携が続いてきたが、中学校のアンケートを考察するとそれ以外にも課題が見られる。これまで以上に北中学校と福井高校との連携づくりを大切にしてほしい。
〇：地域外から転入してきた「地域のこどもたち」と、地域とのつながりから、地域のおとなや学校とのつながりをいかに持てるかが大切な時代になってきたと痛感している。特に教育の場が大事。
〇：この１年間の、この場での出会いに感謝。ふだんから多文化を感じられる、触れられる地域にあるこの学校の強みを生かして、社会に出ていく生徒をこれからも引き続いて取り組んでいただきたい。
〇:さまざまな機関とつながって､それぞれの立ち位置を活かしてさまざまな教育活動を。ミドルリーダーの教職員に向けて、若い教職員へのスキル伝承と組織づくりを行っていただきたい。学校はやはり、あくまでも「教育」の場である。

７　その他

８　校長あいさつ

令和７年度 大阪府立福井高等学校　学校運営協議会委員（敬称略）

番号	名　前	職　名
１	勝部　幸	元福井高校校長
２	平野　智之	追手門学院大学教授
３	梶西　学	「福井高校を育てる会」会長 茨木市立北中学校長
４	塩田　寛	福井地区自治振興会
５	福田　正幸	茨木市健康福祉部　支援員
６	中野　貴代美	本校ＰＴＡ会長

事務局

番号	名　前	校務分掌等
１	村林　隆志	校長
２	梅本　修平	事務長
３	山村　宏昌	教頭
４	曽根　康介	首席・教務主任
５	村上　雄哉	生徒指導部長
６	川端　直子	進路指導部長
７	河野　竜也	活動支援部長
８	野村　達記	地域連携広報部長